

最近の話題・トピックス

『スポーツ活動中に膝を捻った』

整形外科 河合亮輔

歩行はできていても、単純X線で骨折などの異常所見がなくても、膝関節液の貯留を認めた場合などには注意が必要です。膝関節穿刺を行い、特に貯留内容が血液の場合では前十字靭帯の損傷などが疑われます。

前十字靭帯損傷は、バスケットボールやバレーボールなどのスポーツでジャンプ着地に失敗して膝を捻った際に受傷しやすく、膝関節の不安定感(いわゆる膝崩れ)が出現し、多くの場合に関節内血腫(関節内血腫の70%)や疼痛を伴います。受傷直後では前方引き出しテストやLachman(ラックマン)テスト、pivot-shiftテストなどの徒手検査もわかりにくいことがあるため、関節内血腫の貯留は重要な所見となります。

前十字靭帯損傷の場合にはギブスや装具などによる保存治療では疼痛や血腫などは軽減しても、断裂した靭帯の治癒は期待できません。従って症状がおさまっても、膝関節の不安定性が残るため、膝崩れを繰り返すことにより膝関節軟骨や半月板などを傷つけてしまいます。損傷した半月板や関節軟骨の再生は現在の医学では非常に厳しいため、前十字靭帯を再建することにより膝関節を安定化させ、半月板や関節軟骨の損傷・将来的な膝関節の変形を予防することが大切です。

当院では関節鏡を用いて解剖学的前十字靭帯2重束再建術を行っています。正常な前十字靭帯は解剖学的に捻じれる様に走行しているため、なるべく解剖学的に近い靭帯を再建する目的で薄筋腱と半腱様筋腱の2本の腱を用いて1本の前十字靭帯を再建しています。

また、前十字靭帯の一部が残存している場合には、可能な限り残存組織を温存して1重で再建するようにしています。

前十字靭帯損傷とともに半月板の損傷も伴っている場合があります。半月板は膝関節軟骨を保護する働きがあるため、なるべく温存する必要があります。鏡視下に損傷形態をよく確認し、治癒が期待できる場合には縫合しています。ただし、半月板の損傷が著しく、無理に縫合しても再損傷を繰り返すと思われる場合には、最低限の切除を行っています。

手術は基本的には腰部硬膜外麻酔下に行っています。疼痛のコントロールだけでなく、術中に患者様にも関節鏡モニターをみて状態を理解していただくことも、術後リハビリをしていただく上で大切であると考えています。

術後は直後より膝可動域訓練を中心としたリハビリを開始し、2週間後に退院としています。退院後は地域の病院と連携をとり、場合によってはリハビリをお願いしながら、当院外来フォローアップを行っています。体幹や膝の使い方なども指導し、再受傷防止に努めたうえで、術後8~12か月でのスポーツ復帰を目指していきます。

新任医師の ご紹介

消化器内科

助教
おしま やす ひろ
大島靖広





診療医のご案内



(平成24年 10月 1日現在)

診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	福田	伴	下村 (非常勤)	大洞	加藤(隆)	宮脇 森本/大島
	予約診	小島	大洞	小島	加藤(隆)	奥田	加藤(隆)
	予約診	森本	大島	宮脇	伴	福田	—
循環器内科		瀬川	加藤(周)	瀬川	加藤(周)	大野 (腎臓内科)	担当医
		八巻	大野 (腎臓内科)	八巻	谷畠 (非常勤)	早川 (非常勤)	—
腎臓内科		大橋	—	大橋	泉	—	大橋
糖尿病・内分泌内科		猿井 柳瀬	武田 柳瀬	武田 佐々木	猿井 佐々木	猿井 武田	武田 佐々木
呼吸器内科		金村	栗林	舟口 (非常勤)	栗林	栗林	金村
外科		久米	久米	秦	中嶋	川部	担当医
		高橋	川部	(高橋)	秦	中嶋	山本 (第2・4週目)
乳腺外科	1診	細野	川口	川口	川口	細野	細野 (1・3・5週)
	2診	川口	細野	細野	細野	川口 (2・4週目)	川口 (2・4週)
脳神経外科		石澤	郭	山下	石澤	安藤	郭
		山下	辻本	船津	辻本	—	船津
整形外科	初診	日下・河合	青芝/山賀	塚田	後藤(毅)	前田	担当医
	予約診	—	—	前田	河合	大友	—
	予約診	—	今泉	日下	山賀	日下	今泉 (第1・3週)
	予約診	後藤(毅)	塚田	青芝	塚原	今泉	塚原 (第2週)
眼科	1診	田中 (非常勤)	田中 (非常勤)	奥村 (非常勤)	—	奥村 (非常勤)	—
	2診	—	矢田	矢田	矢田	矢田	—
泌尿器科		江原	土屋 (非常勤)	江原	江原	江原	—
婦人科		藤本	(予約制)	(予約制)	藤本	藤本	—
歯科・口腔外科		村松・本橋 —	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村・本間	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村

【ご案内】 ● 診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)
● 年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。